

三徳山災害復旧工事概要

- 1 事業名 三徳山災害復旧事業
- 2 事業地区 東伯郡三朝町三徳
- 3 事業内容
 - 土工 N=1 式
 - 法枠工 (F200-1500×1500) L=136 (A=84m²)
 - 排水構造物工 (B300) L=14m
 - 構造物撤去工 N=1 式
 - 仮設工 N=1 式
- 4 工期 令和7年11月28日

現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	<p>① (他工事等との調整) _____ については、_____ と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</p> <p>② (部分完成、着工保留) _____ については、_____ まで _____ [すること、しないこと]。</p> <p>③ (施工時間) _____ 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____ の施工時間は、_____：_____ ～ _____：_____ とする。</p> <p>④ (余裕期間設定工事) _____ 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) _____ この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑥ (週休2日工事) _____ 【治山工事、林道工事】 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領（令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。</p>
用地 関係	<p>① (用地、物件等未処理) _____ 本工事区間の _____ には _____ があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____ 頃 _____ の予定である。</p>
支障 物件	<p>① (埋設物等の事前調査) _____ 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) について調査済み] である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>② (支障物件) _____ _____ の施工に当って、_____ が支障となっているが、_____ までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③ (立木の置き場所) _____ 工事用地内の立木は伐採し、_____ に置くこと。</p>
公害 対策	<p>① (低騒音型・低振動型建設機械) _____ 本工事のうち施工箇所： _____ については、特に生活環境を保全する必要がある ので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通 省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種： _____、施工機械： _____</p>

<p>安全対策</p>	<p>① (交通安全施設等)</p> <p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p>交通誘導員A _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日 工事全体合計 _____人・日</p> <p>交通誘導員B _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日 工事全体合計 _____人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。</p> <p>また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>
<p>濁水処理</p>	<p>① (濁水処理)</p> <p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。</p> <p>また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf)に基づいて適正に処理すること。</p>
<p>建設副産物の処理</p>	<p>【建設発生土(処理)】</p> <p>① (他工事等流用)</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____に運搬(片道運搬距離 _____km)するものとする。</p> <p>② (建設技術センター)</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 _____km)するものとする。なお、処理費として1m³当り _____円をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>② (民間残土受入地)</p> <p>建設発生土は 鳥取 市・町・村 有富 地内の 中央建設 に運搬(片道運搬距離 36.4 km)するものとする。なお、処理費として1m³当り 1,100 円を 業者 に支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>④ (土質改良プラント)</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____に運搬(片道運搬距離 _____km)するものとする。なお、処理費として1m³当り _____円を _____に支払うこと。土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】</p> <p>① (分別解体等)</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1m³当り _____円 アスファルト塊 1m³当り _____円 建設発生木材 1m³当り _____円</p> <p>② (他工事等流用)</p> <p>[Co雑割材・ _____]は、 _____市・町・村 _____地内 _____工事で使用するものとする。</p>

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1t当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・受入れ費用) コンクリート塊 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1t 当り_____円
 アスファルト塊 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1t 当り_____円
 建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1t 当り_____円
 その他 () _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1t 当り_____円

(受入れ時間帯) 8時～17時(平日)
 (受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。
 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。
 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。
 エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、その費用として1t当り_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているの、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、manifests で運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を2点以上設ける  平均的な断面
建設発生木材 搬出量	manifests 又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (manifests)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき manifests を作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の処理

建設副産物の使用	<p>① (建設発生主の使用) _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生主を受入れ、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>② (再生資材の使用) ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について) 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>② (農地の賃貸借) ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</p>
その他	<p>① (自社施工) 本工事においては、(※) _____ 工 (_____ 工を除く)のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別(レベル4)を記載する。</p> <p>② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、三徳山災害復旧工事 とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p>

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔であるではない〕。
 イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔するしない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
 ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあつては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事
 イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）
 ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事
 エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）
 オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
~~重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。~~

~~⑥ (三者協議)~~

~~本工事は、(対象工事の区分を記載)_____工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。(重点監督工事等に適用)~~

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
 ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

~~⑧ (電子納品)~~

~~情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。
 電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に従い適正に納品すること。
 オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領(令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知)に従うこと。~~

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。
 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他

~~⑪ (建設機械の賃料の採用単価)~~

~~ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
通常単価を採用した建設機械〔無し・有り()〕
イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
本工事の 工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格 t 吊)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、 頁)を採用し、本工事の 工で使用を想定している高所作業車(規格)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、 頁)を採用している。~~

⑫ (現場環境改善)

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔するしない〕。
下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。
1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

~~⑬ (熱中症対策)~~

~~熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。~~

その他

~~⑭ (現場管理費補正)~~

~~【治山工事、林道工事】~~

~~本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮ (日本芝生産地への配慮)~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900209342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。ア〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当たり〇〇円を見込んでいる。~~

~~⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。~~

~~⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)~~

~~本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。~~

~~安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。~~

~~⑱ (標示板の設置)~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長事務連絡)を参考にすること。~~

~~⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】~~

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。~~

~~⑳ (遠隔臨場)~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑ (施工管理システム)~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>~~

その他

~~② (快適トイレの試行)~~

~~1. 内容~~

~~受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。~~

~~(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。~~

~~【快適トイレに求める機能】~~

- ~~(1) 洋式便器~~
- ~~(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)~~
- ~~(3) 臭い逆流防止機能~~
- ~~(4) 容易に開かない施錠機能~~
- ~~(5) 照明設備~~
- ~~(6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)~~

~~【付属品として備えるもの】~~

- ~~(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示~~
- ~~(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫~~
- ~~(9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)~~
- ~~(10) 鏡と手洗器~~
- ~~(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品~~

~~【推奨する仕様、付属品】~~

- ~~(12) 室内寸法 900×900mm 以上(面積ではない)~~
- ~~(13) 擬音装置(機能を含む)~~
- ~~(14) 着替え台~~
- ~~(15) 臭気対策機能の多重化~~
- ~~(16) 室内温度の調整が可能な設備~~
- ~~(17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)~~

~~2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】(該当しない場合は削除)~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

~~2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】(該当しない場合は削除)~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。~~

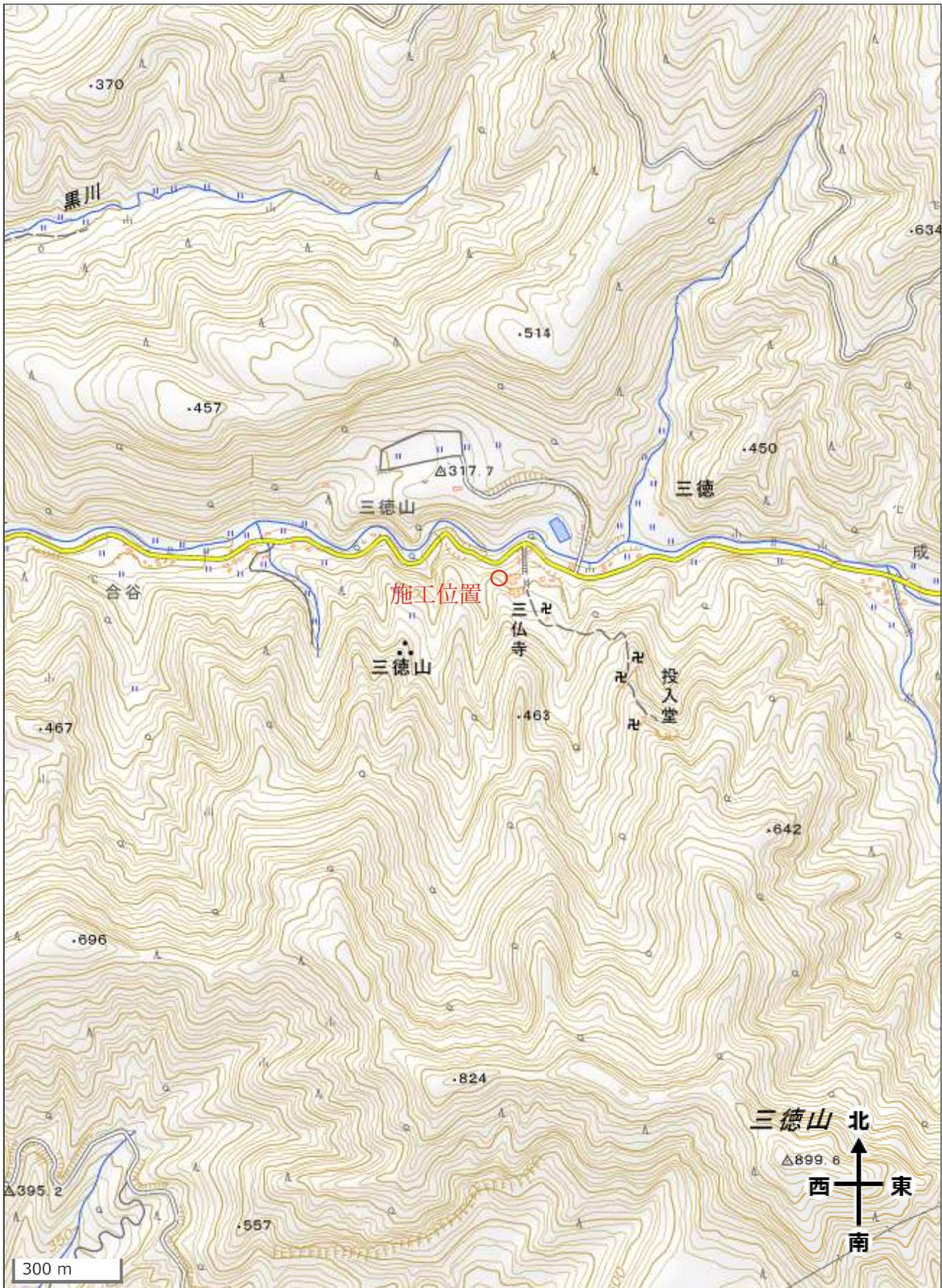
~~また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。~~

~~※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。~~

~~3. その他~~

~~快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。~~

その他



工事設計書

施工年度	令和 06 年度
事業区分	三徳山災害復旧事業
路線名等 河川名等	名勝及び史跡三徳山
工事名	三徳山災害復旧工事
施工位置	三朝町大字三徳
設計金額	
工事概要	土工 法枠工 (F200-1500 × 1500) N=1式 排水構造物工 (B300) L=136m (84m ²) L=14m 構造物撤去工 N=1式 仮設工 N=1式

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	78 三朝町 設計書 当初 06-*****-00001-10 0 1 実施単価 23 三朝町 00-07.05.15(0) 1 治山		
前払率(%) 工種区分 施工地域・施工場所 契約保証区分 週休二日補正係数	当 世 代 40 13 治山・地すべり等防止 19 補正なし 01 金銭保証 (0.04%) 01 週休二日補正なし	前 世 代	

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
山腹工									Y1106	(レベル1)
土工				式					Y2999	(レベル2)
掘削工				式					Y3999	(レベル3)
片切掘削工(小規模土工) バックホウ クローラ型山積0.28m3				式					STA02006	00
	31		m3						施工 第0 -0001号表	070515
残土処理工				式					Y3999	(レベル3)
モノレール運搬(運転)									STF02011	00
	40		m3・t						A=2,B=176,C=9.0	
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)									SPK24040007	00
	40		m3						A=1,B=4	
ダンプトラック運搬10t積級 砂質土 距離36.4km 路面良好									STF02020	00
	40		m3						A=5,B=1,C=1,D=1,E=36.4,F=3	
									施工 第0 -0005号表	070515

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
現場発生品の処分場経費									#0042	
建設残土処分料				式					F9001	00
中央建設	40		m	3						070515 9
法面工				式					Y2999	(L^ Ⅱ2)
法枠工				式					Y3999	(L^ Ⅲ3)
吹付法枠工 F200-1500×1500 セパレートショット工併用				式					V4001	00
見積	1			式					施工 第0 -0007号表	070515
排水構造物工				式					Y2999	(L^ Ⅱ2)
作業土工				式					Y3999	(L^ Ⅲ3)
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	6		m	3					SPK24040015 00 A=1, B=5, E=1	
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	3		m	3					SPK24040020 00 A=5, B=1, D=1	
									施工 第0 -0029号表	070515
									施工 第0 -0030号表	070515

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
排水工									Y3999	(レ ^ハ Ⅱ3)
				式						
角型U字溝 B300 ポリエチレン製									V2002	00
	14		m						施工 第0 -0031号表	070515
張コンクリート t=7cm									V2001	00
	8		m						施工 第0 -0032号表	070515
管渠工									Y3999	(レ ^ハ Ⅱ3)
				式						
既設排水管撤去 撤去 直管 50～150mm									SPK24040092 00	A=2, B=1, C=1, I=2
	30		m						施工 第0 -0034号表	070515
既設排水管復旧 据付 直管 50～150mm 管材料(各種)									SPK24040092 00	A=1, B=1, C=1, D=81, E=1, G=1, I=2
	15		m						施工 第0 -0035号表	070515
構造物撤去工									Y2999	(レ ^ハ Ⅱ2)
				式						
構造物取壊し工									Y3999	(レ ^ハ Ⅱ3)
				式						
石積取壊し 岩塊・玉石 オープンカット 押土無し 障害有り 5,000m3未満 (玉石人力掘削準用)									SPK24040001 00	A=2, B=1, C=2, D=2, E=3
	10		m3						施工 第0 -0036号表	070515

工事内訳書

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
附帯工										Y2999	(レ ^ハ Ⅱ2)
					式						
取付道復旧工										Y3999	(レ ^ハ Ⅲ3)
					式						
板柵土留工 H=1000mm										V7001	00
	見積	10		m						施工 第0 -0037号表	070515
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)										SPK24040020 00 A=5, B=1, D=1	
		5		m3						施工 第0 -0030号表	070515
仮設工										Y2999	(レ ^ハ Ⅱ2)
					式						
資材運搬										Y3999	(レ ^ハ Ⅲ3)
					式						
モノレール架設・撤去 1000kg級 2ヶ月以内 モノレール賃貸料金含む										V8901	00
		1		式						施工 第0 -0038号表	070515
モノレール運搬(運転)										STF02011 00 A=2, B=176, C=9.0	
		3		m3・t						施工 第0 -0003号表	070515
モノレール運搬(運転)										STF02011 00 A=3, B=176, C=9.0	
		1.7		m3・t						施工 第0 -0040号表	070515

工事内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
防護施設工									Y3999	(レベル3)
仮囲い設置・撤去工									STF08007	00
丸パイプ土中打込式 H = 3 m									A=1, B=60	
	17			m					施工 第0 -0041号表	070515
直接工事費										
共通仮設費										
共通仮設費計										
純工事費										
現場管理費										
工事原価										
一般管理費等										

工事内訳書

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
工事価格計						
消費税等相当額計			式			
工事費計						

施工単価表

片切掘削工（小規模土工）
バックホウ クローラ型山積0.28m3

STA02006

施工 第0 -0001号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.71	人			RTPC00002
機-18,24_バックホウ運転 クローラ[標準型]山0.28m3(平0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	0.29	日			S9003 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#91
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			

施工単価表

機-18,24_バックホウ運転
クローラ[標準型]山0.28m3(平0.2m3)

S9003
排出ガス対策型2次基準

施工 第0 -0002号表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	38.00	L			TTPC00013
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1.52	供用日			MTPC00062
諸雑費	1	式			#91
単位当り	1	日			
A=2 クローラ[標準型]山0.28m3(平0.2m3) C=0 労務単価の夜間等割増率 E=38 軽油消費量(L/日) G=1.52 機械損料数量(供用日/日)			B=1 岩石工損料割増 無し D=3 排出ガス対策型2次基準 F=1 運転労務数量(人/日)		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	2.00	人			RTPC00002
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	13.66	L			TTPC00013
単位数量当たり		m3・t			+00
単位当り	1	m3・t			
A=2 土砂・石材（単位：m ³ ） C=9 モノレール本機出力（PS）			B=176	運搬実延長（m）	

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂

SPK24040007

施工 第0 -0004号表

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 27.26% 労務構成比: 61.70% 材料構成比: 11.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
特殊運転手	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

ダンプトラック運搬 10 t 積級
砂質土

STF02020

施工 第0 -0005号表

距離 36.4 km 路面良好

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 10 t 積級 路面状況：良好（土砂類）	1.00	時間			STL01018 施工 第0-0006号表
1 m3 当り		m3			+00 運転費 / 運搬土量 V t
** 単位当り **	1	m3			
A=5 10 t 積級 C=1 バックホウ クラム積0.80m3 (平積0.60m3)[排3] E=36.4 運搬距離 (km)			B=1 砂質土 D=1 路面状況・良好 F=3 上記以外の場合(= 4.8)		
時間当り運搬土量 $VT = 60 * Q * E / CM$ $= 60 * 5.300 * 0.9 / 190 = 1.510 (m3 / h)$					
サイクルタイム $CM = * L +$ $= 4.800 * 36.400 + 15 = 190.000$ Q: 積載土量 (m3)					
E: 作業効率 L: 運搬距離 (km) : 運搬状況による係数 : 積込その他の作業による係数					

施工単価表

ダンプトラック運転
10t積級

STL01018

施工 第0 -0006号表

路面状況：良好（土砂類）

1 時間 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	9.80	L			TTPC00013
一般運転手	0.17	人			RTPC00007
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.00	時間			MTPC00018
タイヤ損耗費 ダンプトラック10t 良好	1.00	時間			K1013
単位当り	1	時間			
A=5 C=1 10t積級 無し（土砂類）			B=1	路面状況・良好	
燃料消費量（時間当り）= 246.000（KW）× 0.040（燃料消費率）= 9.800（L/h）					

施工単価表

吹付法砕工 F200-1500×1500
セパレートショット工併用

V4001

施工 第0 -0007号表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ラス張工 [規]100m2未満	83.8	m2			SS000187 施工 第0-0008号表 (77.9+5.9=83.8)
吹付法砕工(セパレートショット工併用) 200×200 1500×1500 (122.0+14.0=136.0)	136.0	m			V5001 施工 第0-0009号表 見積
砕内植生基材マット工 砕わくマット工(1300)手打ち	37.6	m ²			V5003 施工 第0-0021号表 見積
砕内空石詰工	8.0	m ²			V5004 施工 第0-0023号表 見積
吸出し防止材設置工	8.0	m ²			V5005 施工 第0-0025号表 見積
砕内モルタル吹付工 t=7cm(セパレートショット工併用)	2.6	m ²			V5002 施工 第0-0027号表 見積
ホース設置・撤去工	1.0	式			V5006 施工 第0-0028号表 見積
単位当り	1	式			

施工単価表

吹付法枠工（セパレートショット工併用）
200×200 1500×1500

V5001

(122.0+14.0=136.0)

施工 第0 -0009号表

1,000

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
吹付法枠工200×200 法枠組立・据付	1,000	m			V6002 施工 第0-0010号表 見積 1
吹付法枠工200×200 主アンカー工 (484本×1000/1294)	374	本			V6003 施工 第0-0011号表 見積 1
吹付法枠工200×200 補助アンカー工 (939本×1000/1294)	726	本			V6004 施工 第0-0012号表 見積 1
吹付法枠工200×200 枠吹付工 セパレートショット工併用	40.0	m ³			V6005 施工 第0-0013号表 見積 9
吹付法枠工200×200 水切りモルタル吹付工 セパレートショット工併用	8.8	m ³			V6006 施工 第0-0019号表 見積 9
小面積補正 (100m以上250m未満)	30	%			#01 吹付枠工を除く工種へ適用
施工条件補正	10	%			#09 (45m以下, L=100m以上300m未満)
合計	1,000	m			
単位当り	1	m			

吹付法枠工200×200 法枠組立・据付

V6002

施工単価表

施工 第0 -0010号表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.86	人			RTPC00009
法面工	14.29	人			RTPC00003
普通作業員	5.71	人			RTPC00002
ユニット式フリーフォーム F200 200*200*1000mm	115.0	m			TTR0015 建設物価6月P.380
鉄筋 SD295 D10	0.282	t			T1010047 建設物価6月P.19
諸雑費(労務費の1%)	1	%			#09
合計	100	m			
単位当り	1	m			

吹付法砕工200×200 主アンカー工

V6003
(484本×1000/1294)

施工単価表

施工 第0 -0011号表

頁0-0019

100 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			RTPC00009 9
法面工	4.00	人			RTPC00003 9
普通作業員	2.00	人			RTPC00002 9
アンカー D16 L=750 (先端加工)	100	本			F2003 見積
諸雑費 (労務費の4%)	4	%			#09
合計	100	本			
単位当り	1	本			

施工単価表

吹付法砕工200×200 補助アンカー工

V6004

施工 第0 -0012号表

(939本×1000/1294)

見積

100

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			RTPC00009 9
法面工	4.00	人			RTPC00003 9
普通作業員	2.00	人			RTPC00002 9
補助アンカー D10 L=400 (先端加工)	100	本			F2004 見積
諸雑費 (労務費の4%)	4	%			#09
合計	100	本			
単位当り	1	本			

施工単価表

砕吹付工（セパレートショット工併用）
H=45m以下、L=100以上300m未満

V6016

施工 第0 -0014号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.82	人			RTPC00009 9
法面工	5.45	人			RTPC00003 9
特殊作業員	3.64	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.64	人			RTPC00002 9
セメント（普通ポルトランド） バラ	5.586	t			T0102
砂 セパレートショット用	16.49	m ³			F2001 見積
NS-701	49.16	kg			F2002 見積
セパレートショットガン運転	1.82	日			V6101 施工 第0-0015号表 見積
空気圧縮機運転 20～21m ³ /min 1.27MPa(高压仕様)	1.82	日			V6102 施工 第0-0016号表 見積
機-16 発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1.82	日			S9469 施工 第0-0017号表
機-29 ホイールローダ運転 普通 山積0.34m ³	1.82	日			S9000067 施工 第0-0018号表
計量器 骨材累加算・機械式 ひょう量300kg×1槽・2桿	1.82	日			M3005

施工単価表

粹吹付工（セパレートショット工併用）
H=45m以下、L=100以上300m未満

V6016

施工 第0 -0014号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
SSミキサーポンプ損料 (水量計付き)	1.82	日			M9002
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1.82	日			見積 S9469 施工 第0-0017号表
諸雑費（労務費の15%）	15	%			#09
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			

施工単価表

機-16_発動発電機運転
ディーゼル45kVA

S9469
排出ガス対策型1次基準

施工 第0 -0017号表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	31.00	L			TTPC00013
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 出力45kVA	1.71	供用日			KTPC00032
諸雑費	1	式			#91
単位当り	1	日			
A=8 C=1.71 ディーゼル45kVA 機械賃料数量(供用日/日)			B=31 D=2 燃料消費量(L/日) 排出ガス対策型1次基準		

施工単価表

機-29_ホイールローダ運転
普通 山積0.34m3

S9000067

施工 第0 -0018号表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
一般運転手	0.80	人			RTPC00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	14.00	L			TTPC00013
<賃>ホイールローダ(普通) 山積0.34m3	1.58	供用日			KR0300
諸雑費	1	式			#91
単位当り	1	日			
A=1 普通 山積0.34m3 C=14 燃料消費量(L/日)			B=0.8 D=1.58	運転労務数量(人/日) 機械賃料数量(供用日/日)	

施工単価表

枠内モルタル吹付工
t=7cmセパレートショット工併用

V6017
H=45m以下、L=100以上300m未満

施工 第0 -0020号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.82	人			RTPC00009 9
法面工	5.45	人			RTPC00003 9
特殊作業員	3.64	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.64	人			RTPC00002 9
セメント(普通ポルトランド) バラ	5.586	t			T0102
砂 セパレートショット用	16.49	m ³			F2001 見積
NS-701	49.16	kg			F2002 見積
セパレートショットガン運転	1.82	日			V6101 施工 第0-0015号表 見積
空気圧縮機運転 20~21m ³ /min 1.27MPa(高压仕様)	1.82	日			V6102 施工 第0-0016号表 見積
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1.82	日			S9469 施工 第0-0017号表
機-29_ホイールローダ運転 普通 山積0.34m ³	1.82	日			S9000067 施工 第0-0018号表
計量器 骨材累加算・機械式 ひょう量300kg×1槽・2桿	1.82	日			M3005

施工単価表

枠内モルタル吹付工
t=7cmセパレートショット工併用

V6017
H=45m以下、L=100以上300m未満

施工 第0 -0020号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
SSミキサーポンプ損料 (水量計付き)	1.82	日			M9002
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1.82	日			見積 S9469 施工 第0-0017号表
諸雑費(労務費の15%)	15	%			#09
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			

施工単価表

枠わくマット工(1300)手打ち

V6013

施工 第0 -0022号表

100

m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.60	人			RTPC00009 9
法面工	3.30	人			RTPC00003 9
普通作業員	1.60	人			RTPC00002 9
枠わくマット工(1300)	130	m ²			F2005 見積
アンカーピン 9×200mm	693	本			TTB0104
止め釘 L=150 プラワッシャー併用	308	本			F2006 見積
諸雑費(労務費の5%)	5	%			#09
合計	100	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009
普通作業員	6.6	人			RTPC00002
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	0.50	日			KTPC00014 長期割引適用外
割栗石 50 - 150 mm	12.00	m3			TTPC00006
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	6.00	人			RTPC00009
法面工	12.00	人			RTPC00003
普通作業員	6.00	人			RTPC00002
諸雑費（労務費の1%）	1	%			#09
単位当り	1	式			

施工単価表

SPK24040015

施工 第0 -0029号表

床掘り

土砂 上記以外(小規模)

機械構成比: 19.87%

労務構成比: 72.99%

材料構成比: 7.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m3 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
特殊運転手	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK24040020

施工 第0 -0030号表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ 質量60~80kg	0.58%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

コンクリート打設工
防草コンクリート Co厚さ70mm

S1040011

18-8-20BB

施工 第0 -0033号表

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			RTPC00009 9
普通作業員	3.200	人			RTPC00002 9
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-20(25) W/C60%以下	8.470	m3			TTPC00003
諸雑費	3.0	%			#09
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=1 施工幅 1.0m以下 C=1 - F=70 コンクリート厚さ(mm)			B=2 施工高さ -1.0m以上1.0m以下 D=1 18-8-20BB G=1 -		
コンクリート使用量 = 設計量 * (1 + ロス率) = ((70 / 1,000) * 100) * (1 + 0.21) = 8.470(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

SPK24040092

施工 第0 -0034号表

既設排水管撤去
撤去 直管 50 ~ 150mm

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1

m 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	71.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	28.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 撤去 C=1 50 ~ 150mm			B=1 直管 I=2 機械費・労務費のみ(1日未満完了作業)		

施工単価表

既設排水管復旧
据付 直管 50 ~ 150mm

SPK24040092

施工 第0 -0035号表

管材料(各種) 1
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 43.69% 材料構成比: 56.31% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

m 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
既設再利用	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		F000000001 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm E=1 【F】管材料(m) I=2 機械費・労務費のみ(1日未満完了作業)			B=1 直管 D=81 管材料(各種) G=1 -		

施工単価表

石積取壊し

SPK24040001

施工 第0 -0036号表

岩塊・玉石 オープンカット 押土無し

障害有り 5,000m3未満

(玉石人力掘削準用)

1

m3 当り

機械構成比: 44.26% 労務構成比: 36.73%

材料構成比: 19.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 岩塊・玉石 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=2 障害有り		

施工単価表

モノレール架設・撤去
1000kg級 2ヶ月以内

V8901
モノレール賃貸料金含む

施工 第0 -0038号表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モノレール架設・撤去労務 路線選定なし 30度以上	176	m			STF02010 施工 第0-0039号表
動力車賃貸料金 1000kg積/45° 60日(2ヶ月)以内	1	台			F8901 建設物価Web 9
土木平台車賃貸料金 1000kg積/45° 60日(2ヶ月)以内	1	台			F8902 建設物価Web 9
レール資材賃貸料金 1000kg積/45° 60日(2ヶ月)以内	176	m			F8903 建設物価Web 9
返納整備費(モノレール賃貸料金×10%)	10	%			#09 建設物価Web
単位当り	1	式			

施工単価表

モノレール架設・撤去労務
路線選定なし

STF02010

施工 第0 -0039号表

30度以上

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.40	人			RTPC00009 架設 2*1.2
特殊作業員	2.40	人			RTPC00001 架設 2*1.2
普通作業員	7.20	人			RTPC00002 架設 6*1.2
土木一般世話役	1.20	人			RTPC00009 撤去 1*1.2
特殊作業員	1.20	人			RTPC00001 撤去 1*1.2
普通作業員	3.60	人			RTPC00002 撤去 3*1.2
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A=2 路線選定なし			B=2 30度以上		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	2.00	人			RTPC00002
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	13.66	L			TTPC00013
単位数量当たり		m3・t			+00
単位当り	1	m3・t			
A=3 C=9 ブロック・諸資材（単位：t） モノレール本機出力（PS）			B=176	運搬実延長（m）	

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.29	人			RTPC00009 設置 1*0.2857 1
普通作業員	1.43	人			RTPC00002 設置 5*0.2857 1
土木一般世話役	0.20	人			RTPC00009 撤去 1*0.2041 1
普通作業員	1.02	人			RTPC00002 撤去 5*0.2041 1
仮設材損料	60.00	供用日			仮囲鉄板丸パイプ
諸雑費	10.00	%			#01
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A=1 設置・撤去			B=60	仮囲い供用日数(日)	

数 量 計 算 書

【災害復旧事業】

(東伯郡三朝町三徳)

設 計 数 量 総 括 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	実数量		摘 要
災害復旧								
	土工				式	1	1	
		掘削工			式	1	1	
			掘削(土砂)	小規模	m3	31.4	31	
		残土処理工			式	1	1	
			モノレール運搬	L=176m	m3	33.9	40 (34)	※石材含む
			積込(ルーズ)	機械	m3	33.9	40 (34)	※ "
			残土処理		m3	33.9	40 (34)	※ "
	法面工				式	1	1	
		法枠工			式	1	1	
			吹付枠工	F200-1500×1500 セパレートショット工併用	式 (m2)	1 (77.9)	1 (78)	※すり付け含む
			ラス金網		m2	77.9	(77.9)	
			吹付枠	F200-1500×1500	m	122.0	(122.0)	水切モルタルコンクリート含む
			植生マット(枠内)	無種子、t=3cm	m2	37.6	(37.6)	
			空石詰	t=20cm	m2	8.0	(8.0)	
			吸出し防止材		m2	8.0	(8.0)	
			ホース設置撤去		式	1.0	(1.0)	

設 計 数 量 総 括 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	実数量		摘 要
			吹付砕工 (すり付け部)	F200-1500×1500	m2	5.9	(5.9)	
			吹付砕	F200-1500×1500	m	14.0	(14.0)	水切モルタルコンクリート含む
			ラス金網		m2	5.9	(5.9)	
			モルタル吹付	t=7cm	m2	2.6	(2.6)	
	排水構造物工				式	1	1	
		作業土工			式	1	1	
			床掘	小規模	m3	5.6	6	
			埋戻(流用土)	小規模	m3	2.8	3	
		排水工			式	1	1	
			角型U字溝	B300 ポリエチレン製	m	14.0	14	
			張コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ² t=7cm	m	8.2	8	
		管渠工			式	1	1	
			既設排水管撤去	φ 150	m	30.0	30	15m×2箇所
			既設排水管復旧	φ 150	m	15.0	15	
	構造物撤去工				式	1	1	
		構造物取壊し工			式	1	1	
			石積取壊し	石積 400mm内外	m3 (m2)	10 (26.1)	10 (26)	

設 計 数 量 総 括 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	実数量		摘 要
		運搬処理工			式	1	1	
			(モノレール運搬	石材 L=176m	m3	6.4	6)※残土運搬に含む
			(積込	小規模	m3	6.4	6)※"
			(殻処理	石材	m3	6.4	6)※"
	木道工				式	1	1	
		木道工			式	1	1	
			板柵土留	W=1.0m	m	10.0	10	
			埋戻し	流用土 人力	m3	5.0	5	10m×0.5m3
	仮設工							
		資材運搬			式	1	1	
			モノレール架設・撤去	1000kg級	式 (m)	1 (218.0)	1 (218)	
			モノレール貸借	レール延長	m	176.0	176	
			モノレール運搬	石材 L=176m	m3	3.3	3	
			モノレール運搬	資材等 L=176m	t	1.66	1.7	
		防護施設工			式	1	1	
			仮囲い設置・撤去	H=3.0m	m	17.0	17	

土工

数量計算書

測点 番号	測点間 距離	掘削(小規模)									備考
		断面 m ²	平均 m ²	立積 m ³	断面 m ²	平均 m ²	立積 m ³	断面 m ²	平均 m ²	立積 m ³	
NO.0	0.00	2.9									
NO.1	2.50	3.5	3.20	8.0							
NO.2	2.50	5.0	4.25	10.6							
NO.3	3.00	3.5	4.25	12.8							
合計	8.00			31.4			m3			m3	

作業土工

数量計算書

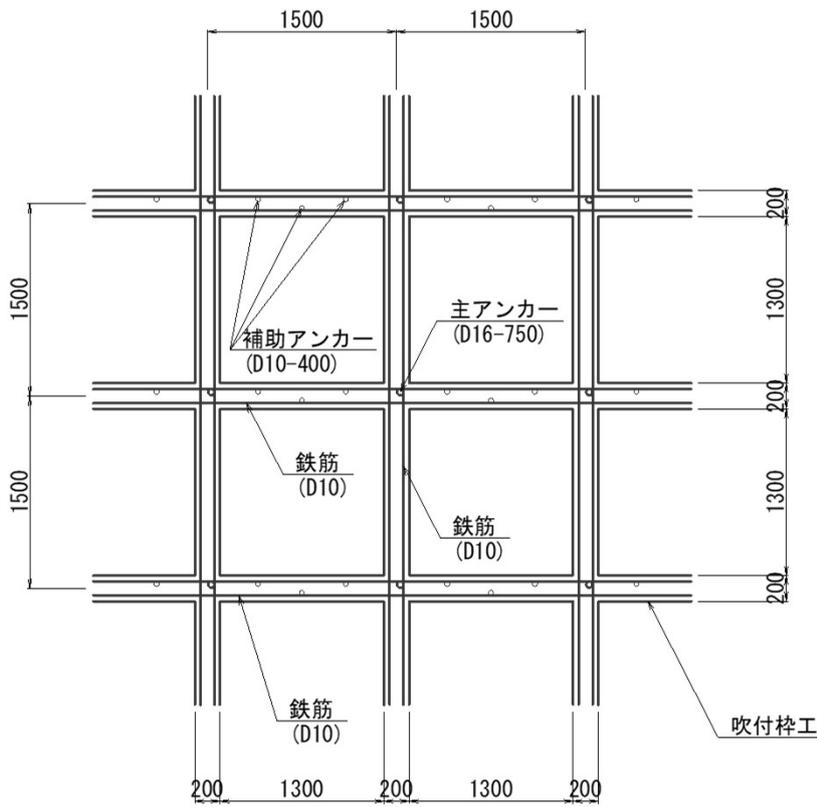
測点 番号	測点間 距離	床掘(小規模)			埋戻(小規模)						備考
		断面 m ²	平均 m ²	立積 m ³	断面 m ²	平均 m ²	立積 m ³	断面 m ²	平均 m ²	立積 m ³	
	m 0.00	m ² 0.4	m ²	m ³	m ² 0.2	m ²	m ³	m ²	m ²	m ³	NO.0断面 起点側角型U字溝
NO.0	3.50	0.4	0.40	1.4	0.2	0.20	0.7				
NO.1	2.50	0.4	0.40	1.0	0.2	0.20	0.5				
NO.2	2.50	0.4	0.40	1.0	0.2	0.20	0.5				
NO.3	3.00	0.4	0.40	1.2	0.2	0.20	0.6				
	2.50	0.4	0.40	1.0	0.2	0.20	0.5				NO.3断面 終点側角型U字溝
合計	m 14.00			m ³ 5.6			m ³ 2.8			m ³	

法面工数量集計表

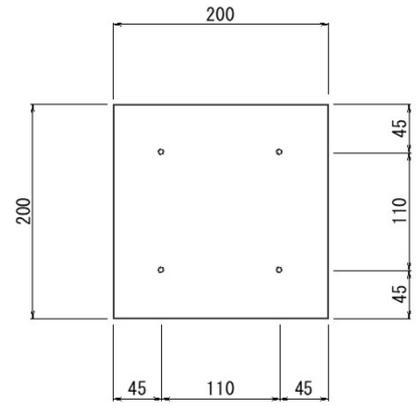
種 別	細 別	規 格	算 式	単 位	数 量	摘 要
法枠工	吹付枠工	F200-1500×1500	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	77.9	
	吹付枠	F200-1500×1500	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m	122.0	
	水切モルタル コンクリート			m3	1.1	
	ラス金網		法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	77.9	
	植生マット(枠内)	無種子 t=3cm	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	37.6	
	空石詰	t=20cm	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	8.0	
	吹付枠工 (すり付け部)	F200-1500×1500	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	5.9	
	吹付枠	F200-1500×1500	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より 10.4+3.6	m	14.0	
	水切モルタル コンクリート			m3	0.1	
	ラス金網		法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	5.9	
	モルタル吹付	t=7cm	法面展開図・吹付枠工割付図（参考図）より	m2	2.6	

吹付枠材料

数量計算書

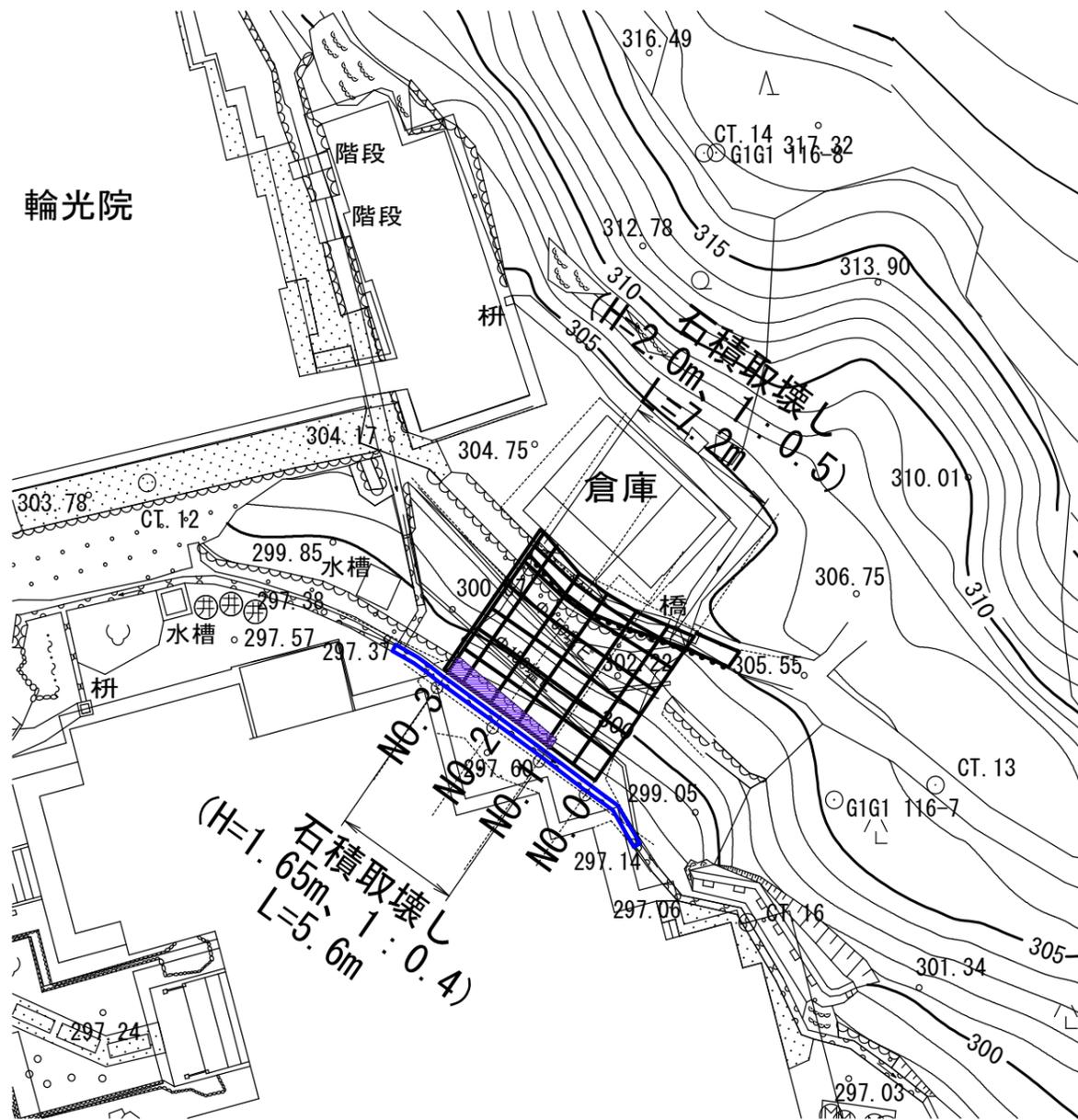


梁断面図



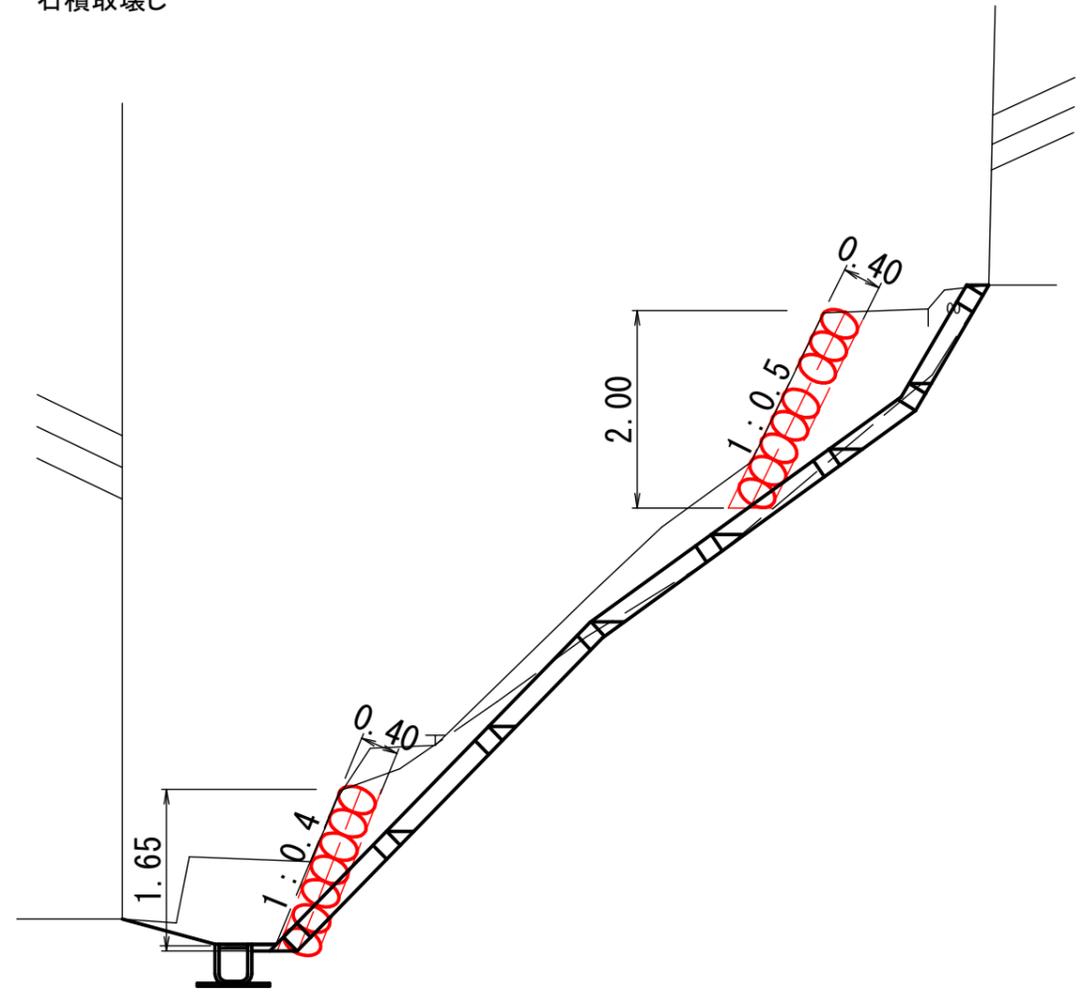
全体 (83.8m²) 当り

名称	規格	算式	単位	数量
鉄筋	D10	縦枠 $68.6 + 10.4 = 79.0$ 横枠 $8.0 + 8.2 + 8.2 + 8.2 + 8.0 + 8.0 + 8.0 + 8.0 = 64.6$ $1.3 + 0.8 + 0.7 + 0.6 + 0.6 + 0.8 = 4.8$ $(79.0 + 64.6 + 4.8) \times 4 \times 0.56 \text{kg/m}$	kg	332
主アンカー	D19-800	横枠 $0.75 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.17 \text{kg/本}$ $(7 \times 8 + 6) \times 1.17$	kg	73
補助アンカー	D13-500	横枠 $0.40 \times 0.56 \text{kg/m} = 0.22 \text{kg/本}$ $(42 + 6 + 6) \times 3 \times 0.22$	kg	36
ラス金網	#14	$83.8 \times 1.0 \text{kg/m}^2$	kg	84
		合 計	kg	525



名称	規格	算式	単位	数量
石積取壊し	石積 400mm内外	$1.65 \times 5.6 \times 1.077 + 2.00 \times 7.2 \times 1.118$	m ²	26.1
		$(\pi \times 0.40^3) / 6 = 0.034\text{m}^3/\text{個}$ 石材 = $26.1 \div ((\sqrt{3} \times 0.40^2) \div 2) \times 0.034 =$	m ³	6.4
石材処理			m ³	6.4

石積取壊し



板柵土留

延長調書

左側			右側		
位置	延長	摘要	位置	延長	摘要
			起点付近 ~ 終点付近	10.0	
計			計	10.0	
合計					

延長調書

左側			右側		
位置	延長	摘要	位置	延長	摘要
計			計		
合計					

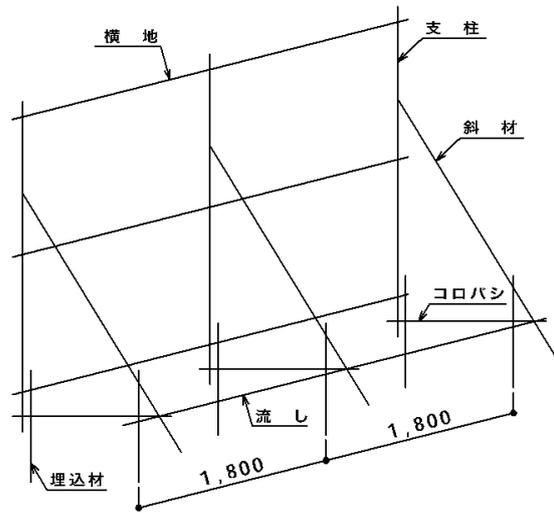
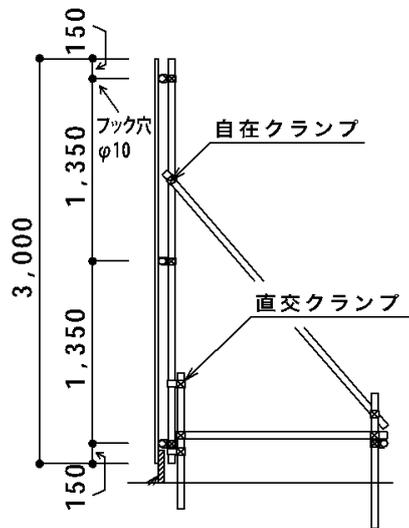
仮囲い設置・撤去

(H=3.0m)

延長調書

左 側			右 側		
位 置	延 長	備 考	位 置	延 長	備 考
			NO.0-4.6~NO.3+3.3	17.0	
小 計	0.0 m		小 計	17.0 m	
			合 計	17.0 m	

数量計算書



全体 (17m) 当り

名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
安全鋼板	S K-300	12.2kg/枚 $17.0 \div 0.54$	(kg) 枚	(390) 32
フックボルト		32×6	個	192
支柱	単管パイプ φ48.6 L=3.0m/本	$3.0 \times 2.73\text{kg/m} = 8.19\text{kg/本}$ $17.0 \div 1.8 + 1$	(kg) 本	(90) 11
横地	単管パイプ φ48.6 L=5.0m/本	$5.0 \times 2.73\text{kg/m} = 13.65\text{kg/本}$ $(17.0 \div 5) \times 3$	(kg) 本	(150) 11
斜材	単管パイプ φ48.6 L=2.5m/本	$2.5 \times 2.73\text{kg/m} = 6.83\text{kg/本}$ $17.0 \div 1.8 + 1$	(kg) 本	(75) 11
コロバシ	単管パイプ φ48.6 L=1.5m/本	$1.5 \times 2.73\text{kg/m} = 4.1\text{kg/本}$ $17.0 \div 1.8 + 1$	(kg) 本	(45) 11
埋込材	単管パイプ φ48.6 L=1.5m/本	$1.5 \times 2.73\text{kg/m} = 4.1\text{kg/本}$ $(17.0 \div 1.8 + 1) \times 2$	(kg) 本	(86) 21
流し単管	単管パイプ φ48.6 L=5.0m/本	$5.0 \times 2.73\text{kg/m} = 13.65\text{kg/本}$ $17.0 \div 5$	(kg) 本	(55) 4
単管ジョイント		0.70kg/個 $((17.0 \div 5) - 1) \times 4$	(kg) 本	(7) 10
兼用直交クランプ		0.70kg/個 $(17.0 \div 1.8 + 1) \times 6$	(kg) 個	(46) 66
兼用自在クランプ		0.73kg/個 $(17.0 \div 1.8 + 1) \times 4$	(kg) 個	(32) 44
		重量合計	(kg)	(976)

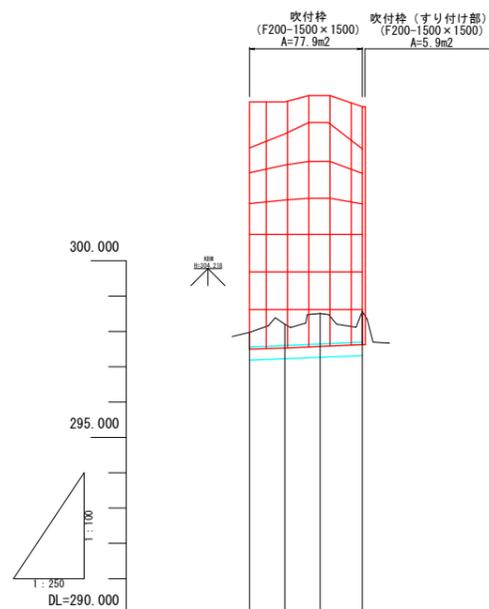
資材等運搬重量 数量計算書

工種・細別	規格	単位	数量	単位重量 (kg)	体積 (m3)			重量 (kg)	摘要	
					土砂	石材	コンクリート	資材		
土工 作業残土	土砂	m3	29.9	1,800	29.9					
法枠工 吹付枠	F200-1500×1500	m2	83.8					525	数量計算書より	
植生マット	無種子 t=3cm	m2	1.7	3.00		1.7				
空石詰	割詰石、150mm	m3	1.6	1,800		1.6				
吸出防止マット	t=10mm	m2	8.0	0.55				4		
排水工 角型U字溝	B300 ホ®リエフン製	m	14.0	10.75				151		
共通仮設 仮囲い	H=3.0m	kg						976	仮囲い 数量計算書より	
合計						29.9	3.3	0.0	1,656	



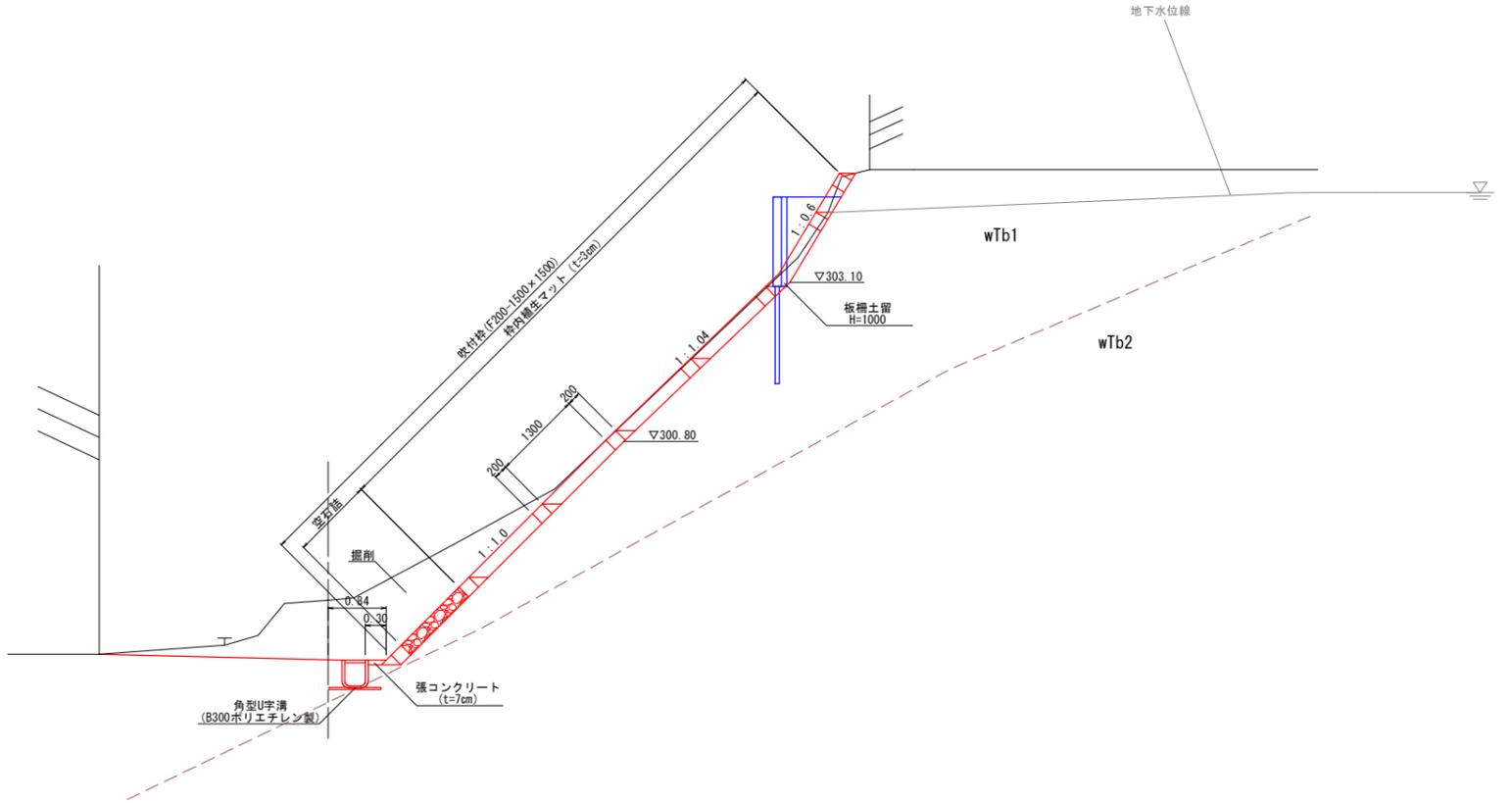
路線名	三徳山		
	三徳山災害復旧工事		
図名	計画平面図(合成図)		
位置	東伯郡三朝町大字三徳		
縮尺	1:500	単位	M
図号	全 6 葉中の内 1		
令和 6 年度施行	三朝町		
	三朝町 建設水道課		

縦断面図 V=1:100
H=1:500



勾配				
盛土				
切土				
計画高				
地盤高		297.98	298.21	298.51
追加距離	0.000	2.500	5.000	8.000
単距離	0.000	2.500	2.500	3.000
測点	NO.0	NO.1	NO.2	NO.3

標準横断面図 S=1:50



※枠内植生マットは、自然侵入促進工とし無種子の植生マットとする。

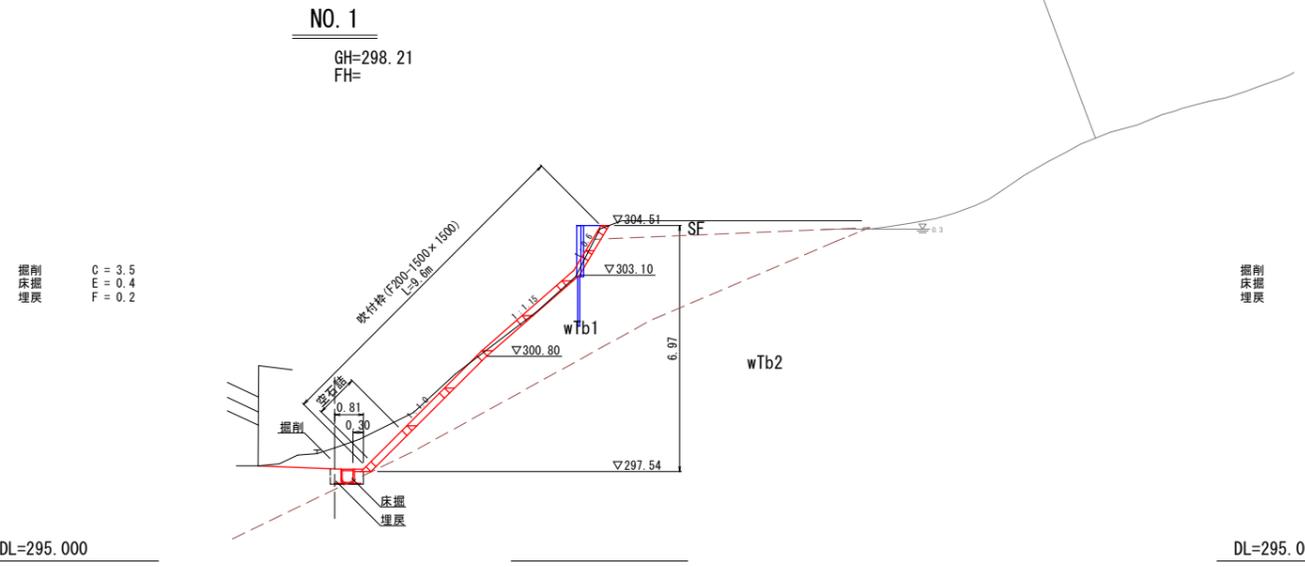
※崩土撤去及び法面整形後に浸透水や地下水が湧出している箇所については、打込み式水平排水孔または、裏面排水を設置すること。位置及び箇所数については、監督員と協議すること。打込み式水平排水孔の打込み傾斜角は上向きに5度程度とする。

※のり尻付近で湧水の湧出量が多く吹付枠が設置不可な場合は、監督員と協議し、かご枠による湧水対策を行うこと。

路線名	三徳山		
	三徳山災害復旧工事		
図名	縦断面図・標準横断面図		
位置	東伯郡三朝町大字三徳		
縮尺	図示	単位	M・MM
図号	全 6 葉中の内 2		
令和 6 年度施行	三朝町		
	三朝町 建設水道課		

地層区分	記号
表土	SF
強風化凝灰角礫岩	wTb1 wTb2
強風化安山岩	wAn
安山岩	An

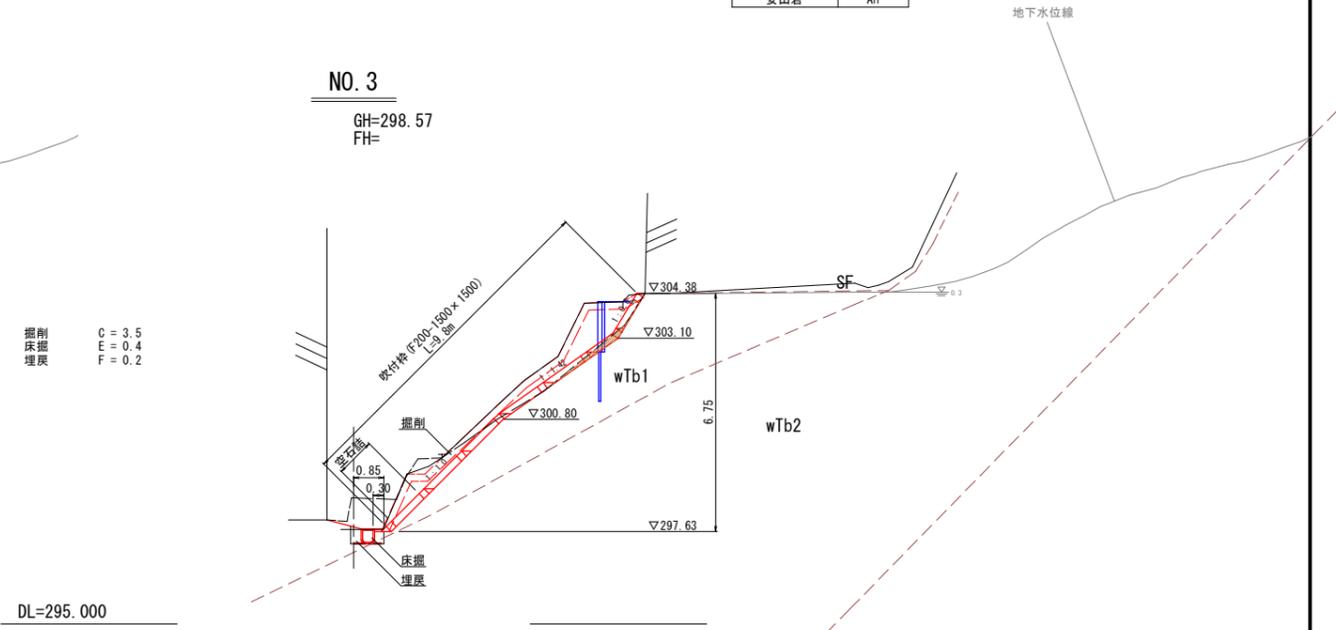
D=2.500



DL=295.000

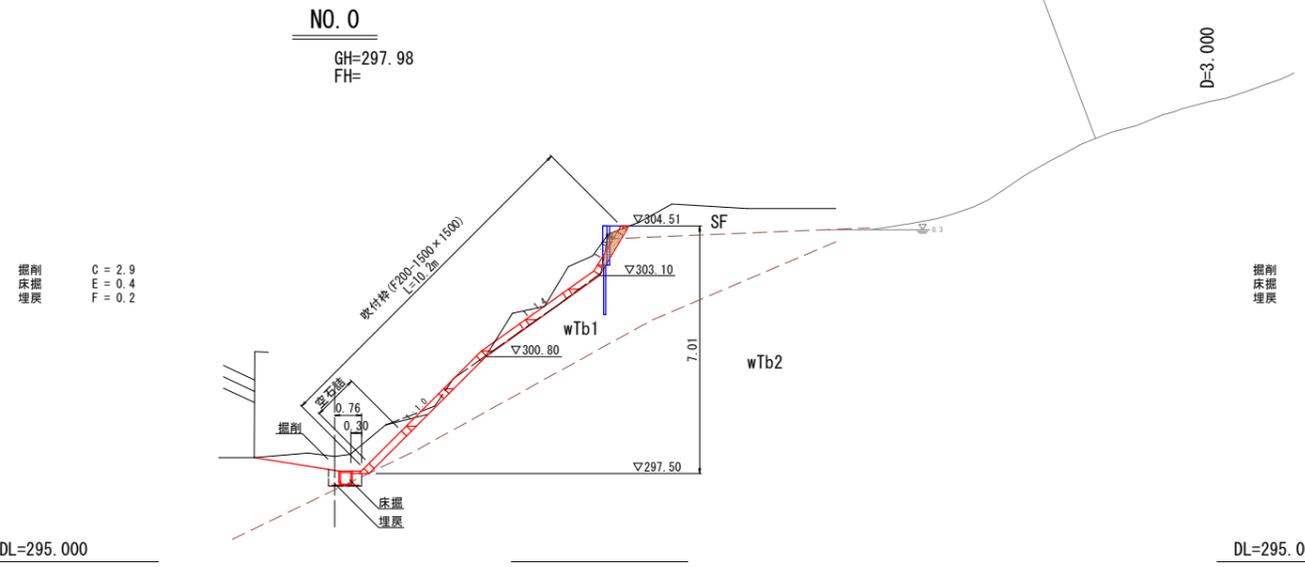
NO. 3

GH=298.57
FH=



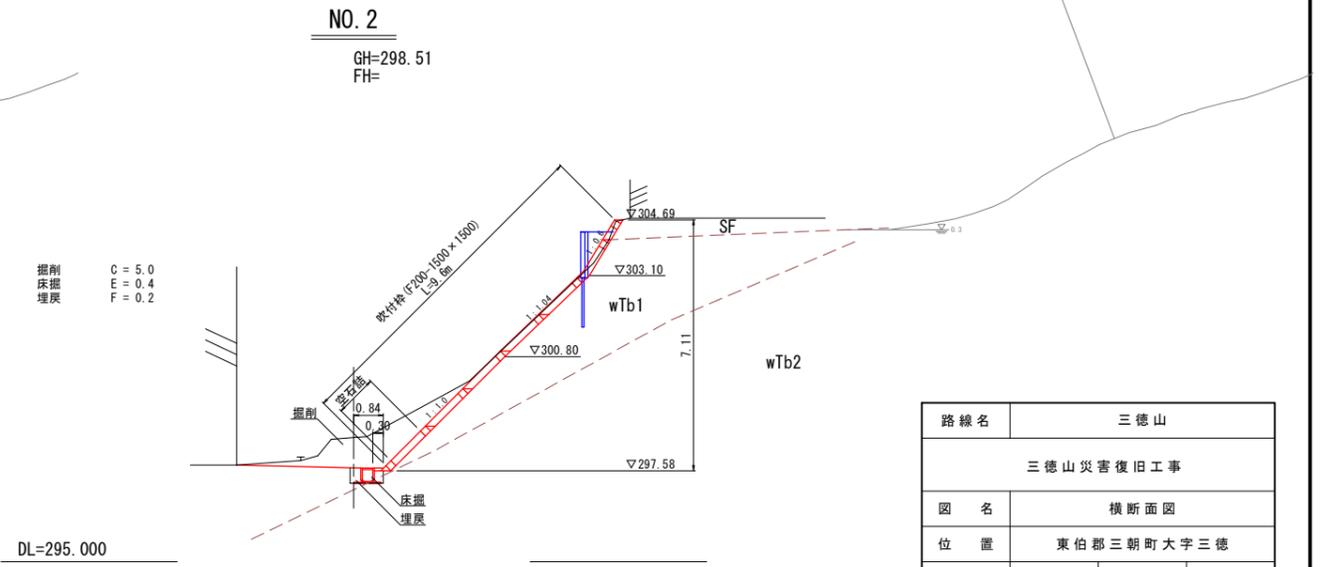
DL=295.000

D=2.500



DL=295.000

D=3.000

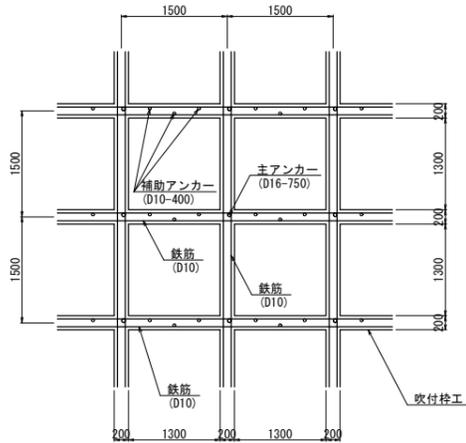


DL=295.000

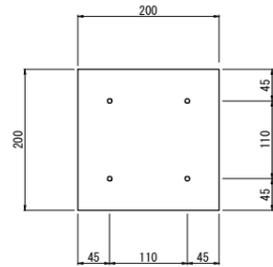
路線名	三徳山		
三徳山災害復旧工事			
図名	横断面図		
位置	東伯郡三朝町大字三徳		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全 6 葉中の内 3		
令和 6 年度施行	三朝町		
三朝町 建設水道課			

吹付砕工詳細図

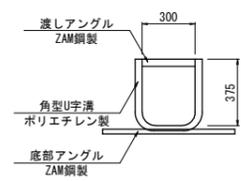
詳細図 S=1:50
単位: mm



梁断面図 S=1:5
単位: mm



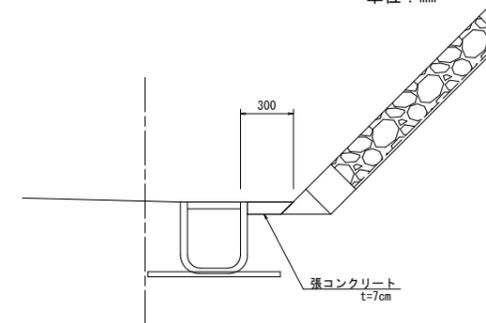
角型U字溝 S=1:20
単位: mm



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
角型U字溝	8300	個	5.000
遮しアングル	3×40×380 ポリエチレン製	本	10.000
底部アングル	3×40×750 ZAM鋼製	本	10.000

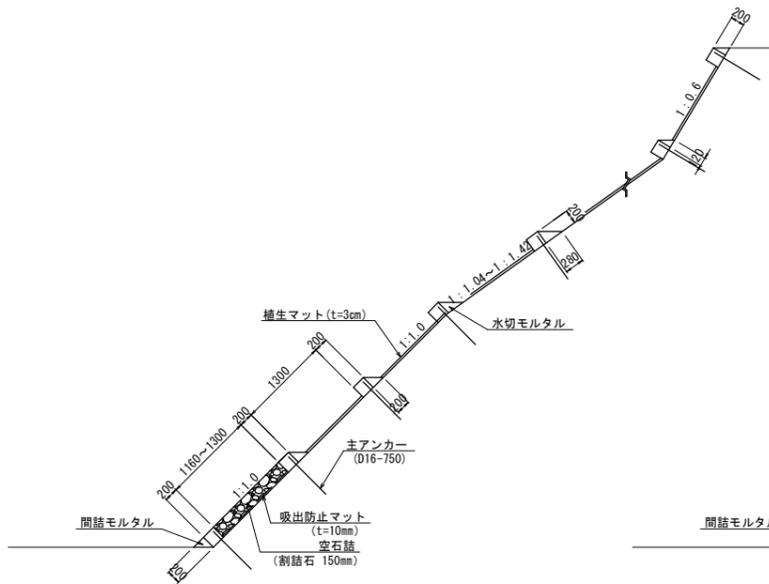
張コンクリート S=1:20
単位: mm



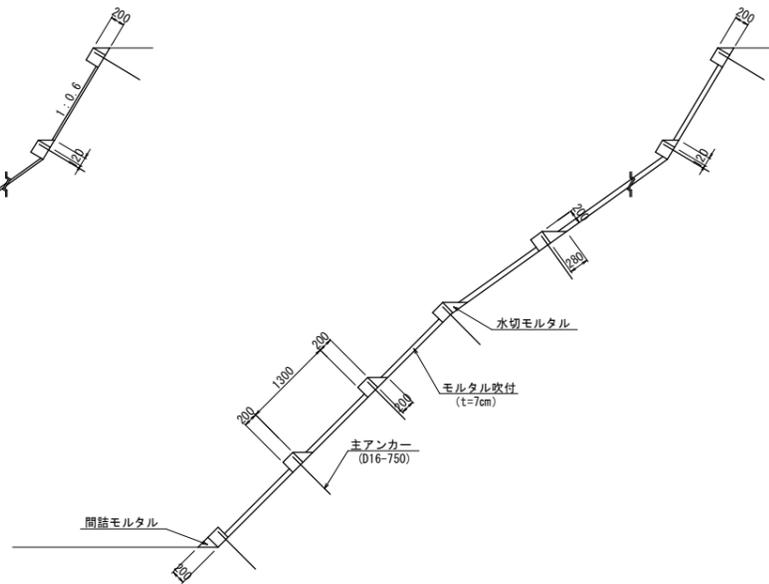
数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.210
型枠	小型構造物	m ²	0.700
目地材	t=10mm	m ²	0.053

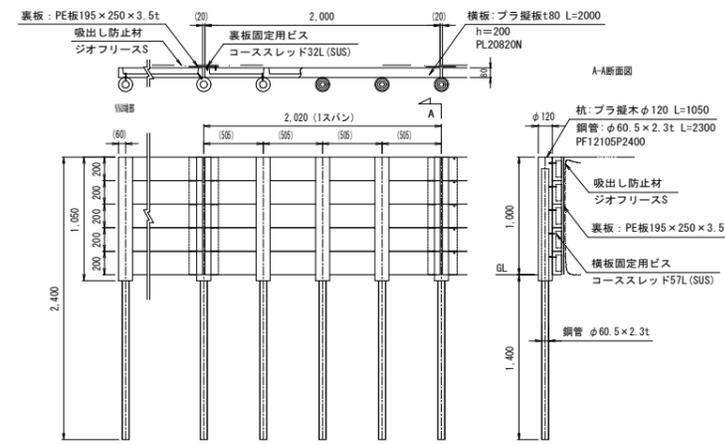
標準断面図 S=1:50
単位: mm



標準断面図 (すり付け部) S=1:50
単位: mm



板柵土留 (参考図) S=1:30
単位: mm



施工時の注意:
 ※杭打込み時は鋼管を打込み、後から掘木をかませてください。
 ※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
 ※打込み鋼管の先端は、GL+900mmです。(掘削力P<=先端+100mm)
 ※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。
 ※板柵土留の設置位置については、地元・地権者と協議の上、状況に合わせた施工を行うこと。

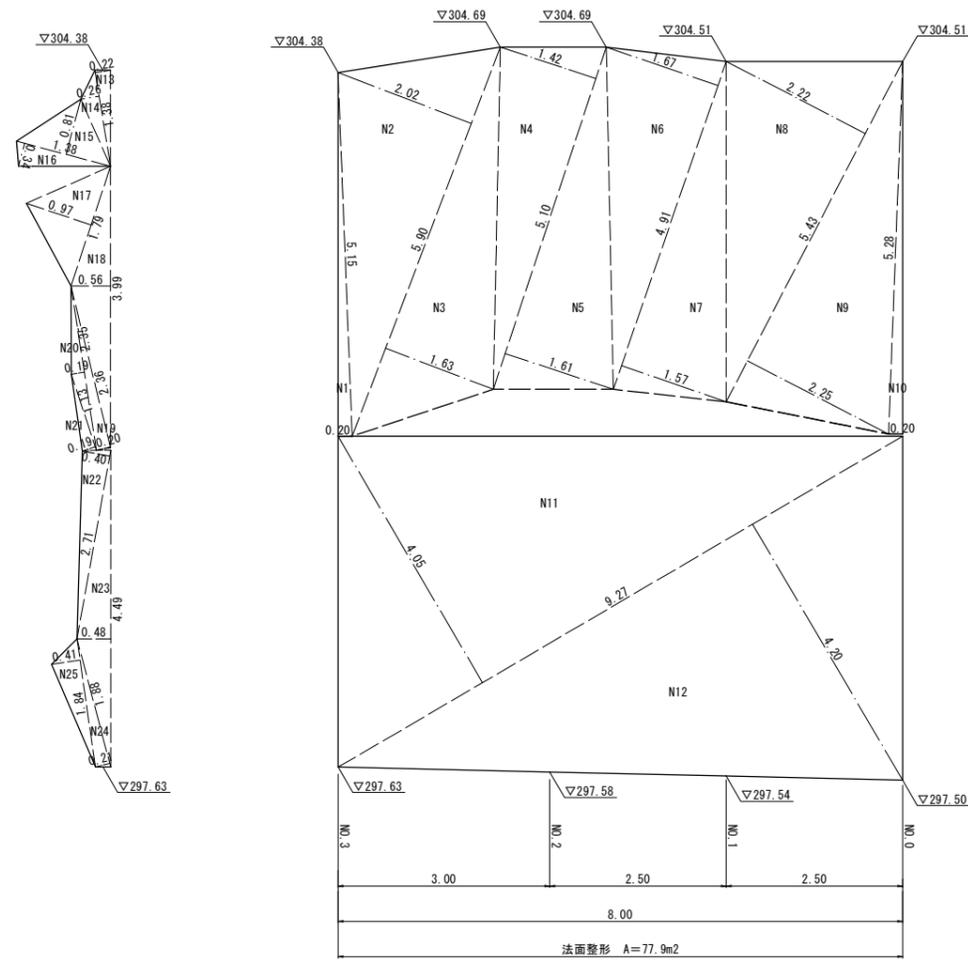
【特記】
 ※掘木色: ダークブラウン (紫外線吸収剤入り)
 丸太外観: クスギ肌模様
 板柵表面: 木目模様
 ※掘木の寸法は標準値です。
 ※使用鋼管は垂鉛メッキ品 STK400以上

設計条件
 背面土のせん断抵抗角 30°
 背面土の単位体積重量 19.0kN/m³
 背面土の粘着力 0.00kN/m²
 掘削重 5.00kN/m²
 杭根入れ地盤の平均N値 5
 ※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

路線名	三徳山		
三徳山災害復旧工事			
図名	吹付砕工詳細図・構造図		
位置	東伯郡三朝町大字三徳		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 6 葉中の内 4		
令和 6 年度施行	三朝町		
三朝町 建設水道課			

法面展開図

終点すり付け部



終点すり付け部

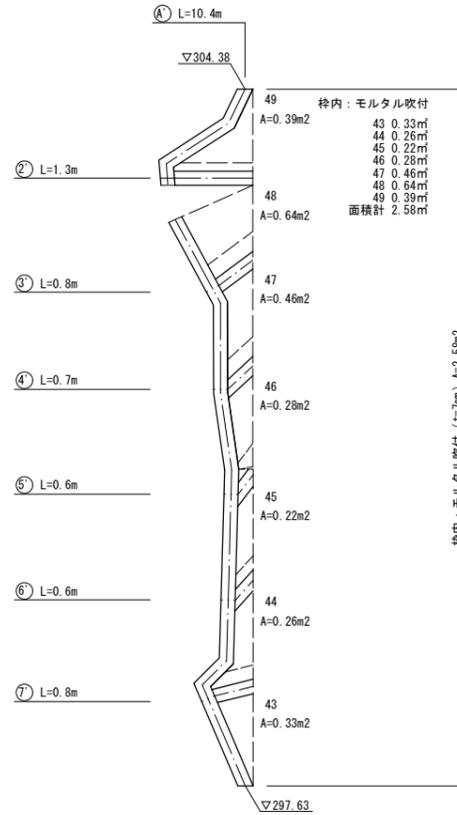
記号	底辺	高さ	倍面積(m ²)
N13	1.38	0.22	0.30
N14	1.38	0.26	0.36
N15	1.38	0.81	1.12
N16	1.38	0.34	0.47
N17	1.79	0.97	1.74
N18	3.99	0.56	2.23
N19	2.36	0.20	0.47
N20	2.35	0.19	0.45
N21	1.13	0.19	0.21
N22	2.71	0.40	1.08
N23	4.49	0.48	2.16
N24	1.88	0.21	0.39
N25	1.84	0.41	0.75
倍面積合計(m ²)			11.73
面積(m ²)			5.87

記号	底辺	高さ	倍面積(m ²)
N1	5.15	0.20	1.03
N2	5.90	2.02	11.92
N3	5.90	1.63	9.62
N4	5.10	1.42	7.24
N5	5.10	1.61	8.21
N6	4.91	1.67	8.20
N7	4.91	1.57	7.71
N8	5.43	2.22	12.05
N9	5.43	2.25	12.22
N10	5.28	0.20	1.06
N10	9.27	4.05	37.54
N12	9.27	4.20	38.93
倍面積合計(m ²)			155.73
面積(m ²)			77.87

法面整形 A=77.9m²

吹付砕工割付図(参考図)

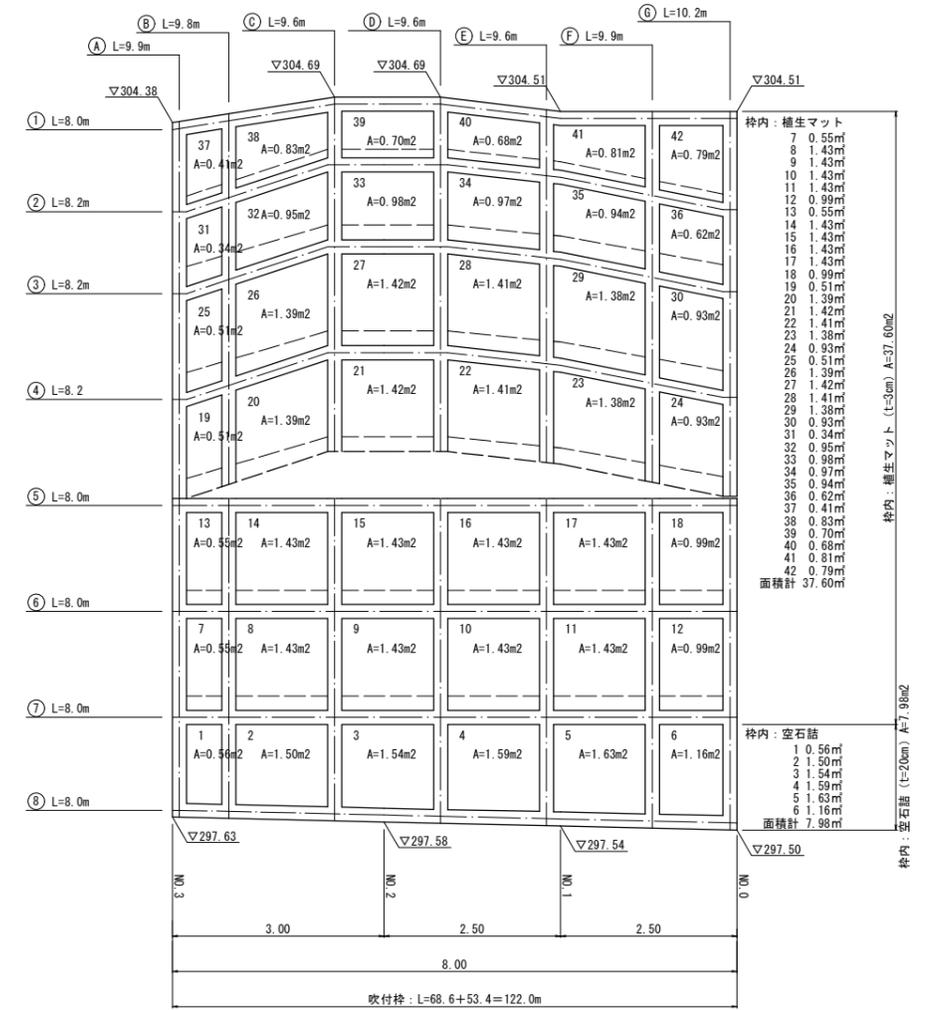
終点すり付け部



終点すり付け部

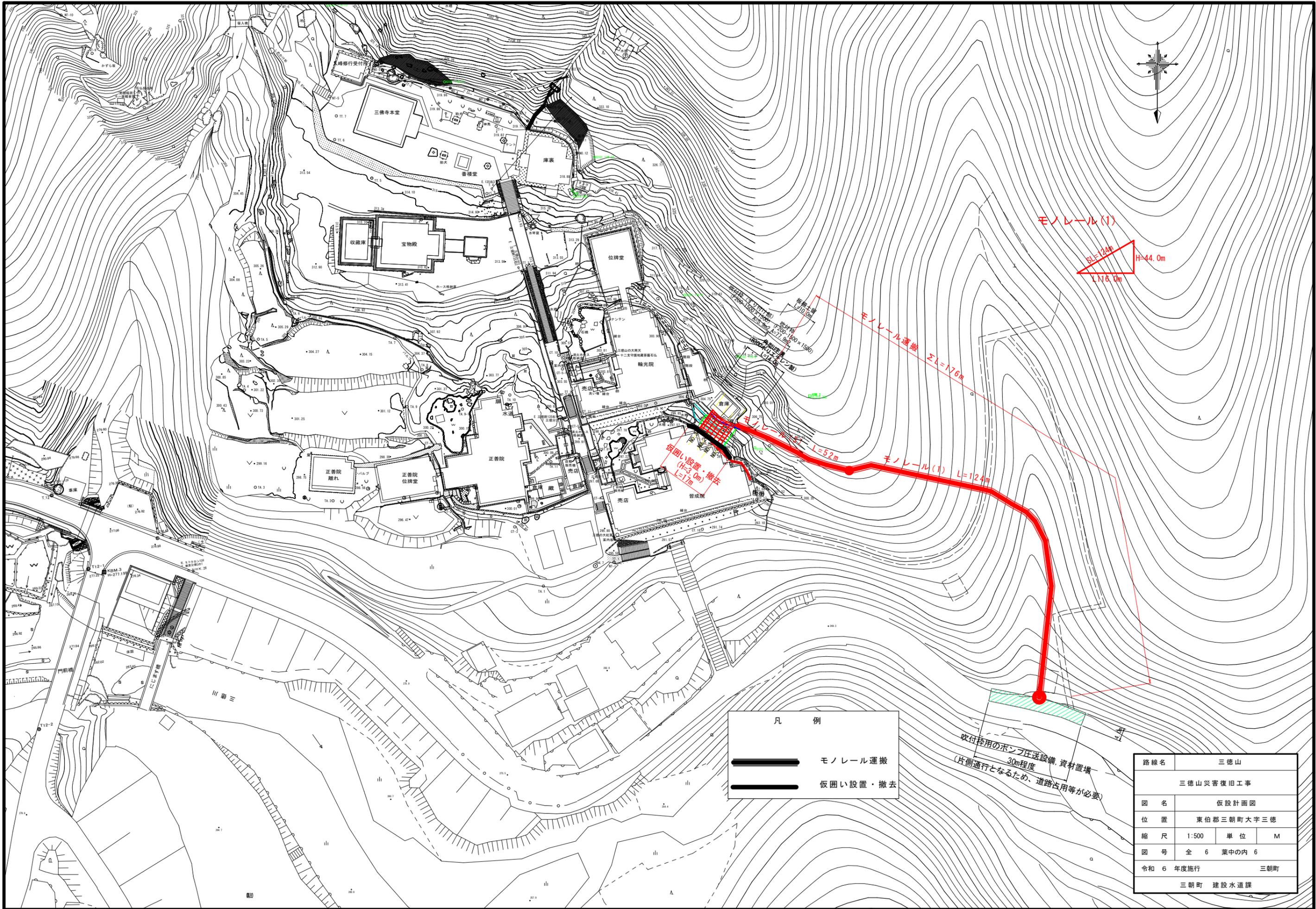
縦枠	横枠
① L=10.4m	① L=1.3-0.2×1=1.1m
合計 L=10.4m	② L=0.8-0.2×1=0.6m
	③ L=0.7-0.2×1=0.5m
	④ L=0.6-0.2×1=0.4m
	⑤ L=0.6-0.2×1=0.4m
	⑥ L=0.6-0.2×1=0.4m
	⑦ L=0.8-0.2×1=0.6m
	合計 L=3.6m

※枠内にモルタル吹付を行う箇所は、水抜孔を各枠内に1箇所程度設置する。



縦枠	横枠
① L=9.9m	① L=8.0-0.2×7=6.6m
② L=9.8m	② L=8.2-0.2×7=6.8m
③ L=9.6m	③ L=8.2-0.2×7=6.8m
④ L=9.6m	④ L=8.2-0.2×7=6.8m
⑤ L=9.6m	⑤ L=8.0-0.2×7=6.6m
⑥ L=9.9m	⑥ L=8.0-0.2×7=6.6m
⑦ L=10.2m	⑦ L=8.0-0.2×7=6.6m
合計 L=68.6m	⑧ L=8.0-0.2×7=6.6m
	合計 L=53.4m

路線名	三徳山		
	三徳山災害復旧工事		
図名	法面展開図・吹付砕工割付図(参考図)		
位置	東伯郡三朝町大字三徳		
縮尺	1:50	単位	M
図号	全 6 葉中の内 5		
令和 6 年度施行	三朝町		
三朝町 建設水道課			



凡 例	
	モノレール運搬
	仮囲い設置・撤去

路線名	三徳山		
	三徳山災害復旧工事		
図 名	仮設計画図		
位 置	東伯郡三朝町大字三徳		
縮 尺	1:500	単 位	M
図 号	全 6 葉中の内 6		
令和 6 年度施行	三朝町		
	三朝町 建設水道課		